

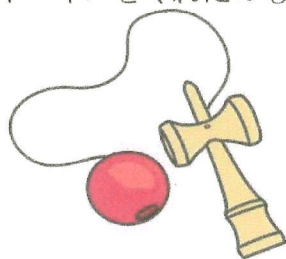
あいさつを届ける人に

たまに、考えごとをしていたり別の何かに注意が向いていたりすると忘れるときもありますが、私はなるべく通り過ぎる人にあいさつをするようにしています。「おはようございます」が一番言いやすいです。「こんにちは」は言っている人があまりいないのでちょっと難易度が高いです。家で飼っている犬を連れて散歩に出掛けたとき、すれ違う人にあいさつするのは、ちょっとだけためらいます。こわそうな人だと思っておそるおそるあいさつすると、想像していなかった明るい声であいさつが返ってることがあります。反対に、気持ちのよいあいさつ返しを期待して元気よく「おはようございます」を言ったのに、何も言わずに通り過ぎていく人もいます。学校で生徒のみなさんとあいさつを交わすときによくあるのは、自分にあいさつされたと思ってあいさつを返すと、自分の後ろの方にいた別の人に向けたあいさつだったというものです。私があいさつを返した相手は、ちょっとびっくりしたような表情をしたり、友達という場合はクスクスと笑ったりします。あいさつを返したこちらとしてはちょっときまりが悪い場面です。あいさつひとつでもいろいろあります。

「あいさつは相手の存在を認めること」だと思います。とても大切なものだと思う気持ちは変わりませんが、このごろ、ちょっとちがうことも考えるようになりました。

あいさつを返せない人もいと納得する気持ちです。相手の立場は自分の立場とは異なります。元気な声であいさつしたい気持ちはあるけれど、声が出ない人だっているのです。

みなさんは「緘黙(かんもく)」という困りを抱えた人を知っていますか？話し掛けられて、自分も話したいけれど、声を出そうとすると、のどが締め付けられるようになってどうしても声が出せない状態です。私はこの緘黙の人と交流する機会があります。その人は、けん玉が上手で四段の腕前をもつKさんです。私はKさんにけん玉を教わるために、自分からあいさつをします。Kさんはあいさつの声は出せませんが、かすかに首を傾けてうなずいてくれます。そして私が行き詰まっている技について、お手本を見せてほしいとお願いすると、何度でも見せてくれます。メールのやり取りで、たくさんの文章を書いて説明してくれます。「うまくいったときに、何度も練習するといいですよ」とアドバイスをくれたのもKさんです。コロナ禍でけん玉練習会が中止になり、何か月もお会いしていませんが、次回に会うときも、部屋の隅っこにいるKさんに、私からあいさつをしに行こうと思います。



いろんな立場の人がいることをなんとなく感じながら、相手のあいさつが返ってこなくても、みなさんにはあいさつを届ける人になってほしいです。そこから何かが生まれるかもしれませんよ。

佐々木カウンセラーの来校日 (1学期の今後の予定)

第1理科室の前に教育相談室があります。

そして、その隣にもう一つ小さな部屋があります。看板についているウサギの折り紙が目印です。(右下の写真参照)。その部屋に来られるのが佐々木カウンセラーです。

優しいまなざしで、ゆっくりと話を聴いてくださると評判です。休み時間にちょっとだけ話をするのもいいです。じっくりと話を聴いてもらいたい場合は、学級担任の先生を通じて予約することをおすすめします。

【6月】24(木)13:30~17:30

【7月】7(水)9:30~11:30

8(木)13:30~17:30

